

第5回 殺虫剤抵抗性対策シンポジウム

2025年 **12月19日(金)** 10:00～17:00

東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂 + オンラインZoom

主催 農林害虫防除研究会 殺虫剤抵抗性対策タスクフォース
東京農業大学総合研究所 研究会 農薬部会

後援 (一社)日本植物防疫協会、(一社)日本農薬学会、(一社)日本応用動物昆虫学会
(国研)農研機構、(一社)日本植物病理学会/殺菌剤耐性菌研究会
(一社)全国農業改良普及支援協会、東京農業大学総合研究所 研究会 生物的防除部会

発生生態の理解からはじめる 難防除害虫管理と殺虫剤抵抗性対策 ～ 斑点米カメムシを例に～

開催にあたって シンポジウムテーマの視点と殺虫剤抵抗性対策タスクフォースの活動概要

山本 敦司・土井 誠・井口 雅裕・野田 隆志・山我 岳史・刑部 正博・清水 健・田中 千晴・樋口 聡志・吉田 優里
(農林害虫防除研究会 殺虫剤抵抗性対策タスクフォース)

講演1 「予防・予察」に重点を置いた総合防除の一層の推進と現場への浸透

藤井 達也・岡田 和秀 (農林水産省消費・安全局 植物防疫課)

講演2 斑点米カメムシ類の発生予測・薬剤散布連絡システムの開発 ～予察による適期防除の視点から～

松倉 啓一郎 (農研機構 植物防疫研究部門)

講演3 東北地域における斑点米カメムシ類の発生動向および防除対策

大友 令史 (岩手県植物防疫協会)・吉田 雅紀 (岩手県宮古農林振興センター)

講演4 愛知県におけるイネカメムシの発生生態と殺虫剤抵抗性の発達 ～ミナミアオカメムシとの比較から～

石川 博司 (愛知県農業総合試験場)

講演5 福岡県の水稲栽培における斑点米カメムシ類の防除対策と課題

清水 信孝 (福岡県農林総合試験場)

講演6 複数剤併用と防除強度の最適化による抵抗性遅延：理論からの示唆

須藤 正彬 (農研機構 植物防疫研究部門)

総合討論 少ない防除の選択肢を最大限に活用するには？ ～斑点米カメムシ類～



実行委員

農林害虫防除研究会 殺虫剤抵抗性対策タスクフォース

山本敦司・土井誠・井口雅裕・野田隆志・山我岳史・刑部正博・清水健・田中千晴・樋口聡志・吉田優里
東京農業大学総合研究所 農薬部会 須恵雅之・服部宏美

協力

農林害虫防除研究会・本部 生田目直樹 東京農業大学総合研究所 生物的防除部会 河津圭

【開催要領】 農林害虫防除研究会のHP参照 <https://agroipm.org/irm-sympo/>

【参加費】 農林害虫防除研究会の会員：1,500円

東京農業大学総合研究所 研究会「農薬部会」の会員：1,500円

非会員：3,500円 報道関係者：無料 (情報交換会：4,000円)

【申込手続】 申込受付期間：2025年9月26日(金)～11月18日(火)

参加申込フォーム：(外部リンク) <https://forms.gle/dpWLUX4zyaqT2bXV8>

【問合先】 シンポジウム専用アドレス：irm-sympo_5@agroipm.sakura.ne.jp

第5回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム実行委員会 事務局

農林害虫防除研究会 専門委員会「殺虫剤抵抗性対策タスクフォース」 山本敦司 (東京農業大学)

